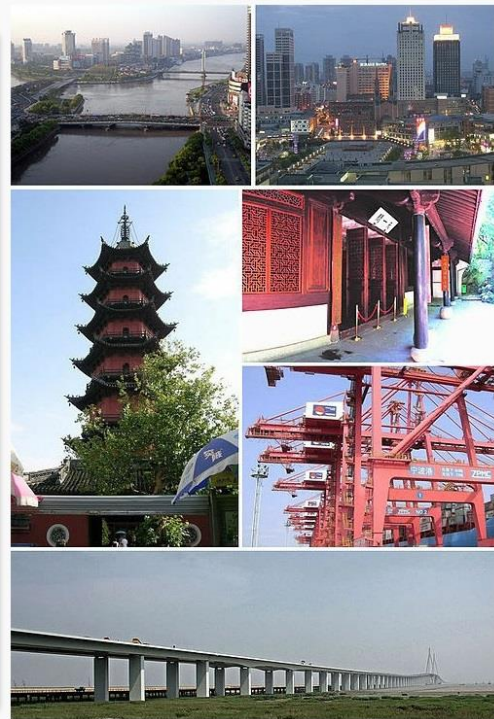


オリーブ通信



2015年
7月号
2015.7.18発行
第165号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



—— 私の故郷 ——

私の故郷は中国浙江省寧波市です。寧波は中国東南部に位置し、古くから港湾都市として商工業が発達していると同時に、古い歴史を誇り国務院から国家歴史文化都市に指定されています。外洋は東海で、西は紹興市（紹興酒で有名）と台州市に接しています。寧波には長い歴史と美しい山や川など観光資源があります。例えば、天一閣、月湖、天童寺、河姆渡遺址などですが右の写真をご覧ください。また、おいしい食べ物は数え切れないほどありますが、よく知られているのは「寧波汤圆」です。「寧波汤圆」はもち米の皮に胡麻餡を入れてお湯で煮たものですが、口触りは柔らかくてとてもおいしいです。寧波は現代的な都市であると同時に、伝統的な雰囲気も感じられる街です。中国に旅行するなら、ぜひ寧波へいらっしやってください。（張 彤暉）

中川先生のへんてこ日本語

60

「押し」の力学

ゼミの日本人学生が、「今日は山本さんの誕生日なので、みんなでピアガーデンへでも行こうと思うのですが、先生のご都合はいかがですか」と授業後に聞いてきた。「今日ねえ・・・」と非明示的の返答をすると、「じゃ先生、いつのご都合がよろしいですか」と押ししてきた。私の返答の仕方が悪かったのか、それともおごらせようとも思っているのだろうか。

私の担当する大学院生が、非明示的な返答にどう答えるか調査したところ、予想とは裏腹に、非明示的「配慮」表現に留学生は、「そうですね、残念です」などと引くのに対し、日本人の場合は提案を求める傾向が強いと言う。留学生だと、母語干渉から、明示的返答を求めると予想していた。日本語教科書には、「今日はちよつと」「え、今日ですか」などと間接的に断るのを「配慮表現」「気配り表現」などと、日本人の美德として紹介している。すなわち日本語学習者には、「刷り込み」が働いたと考えられるが、この「引き」の美学は、もはや日本社会では通用しないのだろうか。確かに引いていては、セールスなどではできるはずもない。

人対人の関係が希薄になり、対人コミュニケーションの機会が薄れつつある昨今、相手への配慮を怠ると、人間関係が喪失してしまう。メールやツイッターなどでは、顔の表情や声調から真意を感じるのが難しく、明示的（直接的）表現が好まれる。

こんなことを考えていたら、「先生、今日授業のあと、お時間ありますか。明日締め切りの奨学金願書の日本語見ていただきたいのですが」と、留学生がやって来た。さすがにこの依頼には、「今日はちよつと」と逃げ切れず、「はい、いいですよ」と押しされるままだった。



京都外国語大学

日本語学科教授

中川良雄

——オリーブ先生たちによるリレーエッセイその1——



日本語ボランティアに参加するまで 内田幸夫

会社時代に教育部門で人権教育に携わっていた時、識字学級で字を覚えた人の話を読んで心に残った。乗り物に乗ってどこかに出かける時、昔ならお金を出して行き先を言えば切符とお釣りがもらえた。しかし、今は自動販売機になっているので字が読めない人には切符を買うのが大変である。それでも目の不自由な人なら助けてくれる人も多いが、字が分からないので恥を忍んで切符の買い方を周りの人に尋ねても、あそこを見ればと言いたげな怪訝な顔をされるだけ助けてもらえなかった。そのため自分ひとりで出かけることをあきらめていた。だから、字を覚えたことで一番うれしかったのは、行きたいところへ自分ひとりで行くことができるようになったことだそう。

定年退職を機に、自分のわずかな知識でも人の役に立てるのではと人権教育担当の頃から温めていた識字学級でのボランティアを市役所へ申し出たところ、教員資格がなければだめですと断られた。それならと、日本語が分からずに生活に不自由している外国の人に日本語を教えるボランティアをしようと考えた。2年間の日本語教師養成コースを終了させ、やっと外国の人に日本語を教える機会を持つことができた。

今は外国からの人にそれぞれの国の事を教えられながら、未熟な私でも受け入れてくれている生徒に何とか役に立ちたいと願って活動をしている。



——オリーブ班紹介その4——

初級1クラスです。ブラジルから来られました。親子で来られています。お母さんの名前はコモリゾノ・マツオカ・レジナテルヨさん、息子さんの名前はコモリゾノ・クラウディオ君です。会話がスムーズに出来るように教えています。特にクラウディオ君があまり話せないで何とか話せるように頑張っています。皆さんも話しかけて下さい。（担当：中西利夫）



（初級1クラス）

——オリーブでがんばっている学習者紹介⑥——



（ペニラ・アイデイさん）

私の名前はペニラ・アイデイです。きょねんの6月フィリピンから日本に来ました。9月から日本語をべんきょうしています。かんじといろいろなことばを学ぶことが楽しいです。ことし4月から高校にかよっています。オリーブは日本語をべんきょうするのにとてもいいです。これから楽しんでオリーブで日本語をべんきょうします。よろしくおねがいします。

三年前にオリーブに初めて来ました。そのとき僕は日本語が全くわかりませんでした。中学二年の二学期から石部中学に通学しました。サッカー部に入ったり中学校生活を楽しんでるうちにみるみる日本語が上達しました。その後、高校受験は大変でしたが、一所懸命にがんばりました。今は高校二年生になって勉強は難しくなってきました。国語の現代文は難しいですが、古典はもっと難しく大変です。日本語のレベルを上げるためにオリーブでがんばります。よろしくおねがいします。



（桜井ジョエルさん）

中村さんの季節折々 7月（文月）

そうたち ひしめきあ
騒立ちて犇き合ってアオバナは

琵琶湖に向き草津市の花

—中村健治—



（注釈）アオバナ…草津市の市花です。毎年夏ごろ、琵琶湖のほとりに咲きます。まるで琵琶湖に向かって咲いているように見えます。

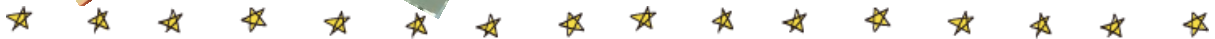
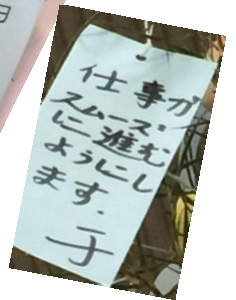
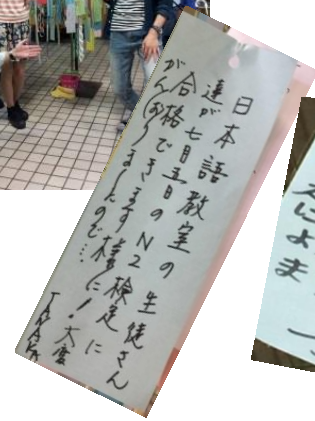
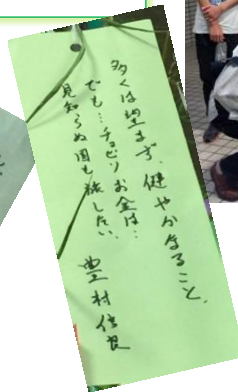
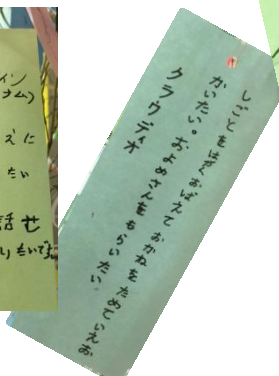
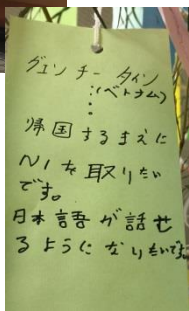
※7/19（日）午後 3:00~4:00 NHK「俳句王国がゆく」で草津市が紹介されます。

草津市の魅力を俳句で紹介しています。私の俳句も紹介されます。みなさん、ぜひ…

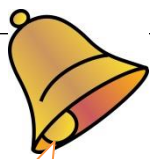
7月と言えば… 陰曆で7月を文月という。これは短冊に歌や字を書き書道の上達を祈った七夕の行事に因み「文披月（ふみひらづき）が転じたという説があります。



今年もまちづくりセンターのホールに大きな七夕飾りが置かれている。短冊に思い思いの願い事を書いてその願いがかなうように笹の木にぶら下げる。みんなの願いもかなうといいですね。



受付からの一言 …その1



リンリン

「終わらないで！」

休憩の鐘を鳴らそうとすると、両腕を交差させて“バッテン”を作り、「ベル（休憩）ダメダメ！」と必死に合図を送ってくる生徒さんがいます。また、別の生徒さんは、終了の鐘を鳴らそうとすると「終わっちゃダメダメ」と、同じように両腕でバッテンのしぐさをします。“もっと勉強したい”“えーもう終わる時間!?” そんな生徒さんたちの声が聞こえてきます。きっと、楽しい授業なんでしょうね。そんな生徒さんには“申し訳ないけど・・・”と心を鬼にして(!?)、無情にも鐘を鳴らしている受付です。 (小春 京子)



先月の活動 (6月)

日本語教室 6/6(M),13,20,27(4回)
 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
 ネットワーク会議 6/1 (月) (恩地)
 同上 中川先生との打ち合わせ 6/2 (火) (恩地)
 同上 運営委員会 6/29 (月) (恩地)
 まちセン評議委員会議 6/29 (月) (恩地)
 まちセン運営協議会全体会議 6/9 (火) (田中一)



●日本語教室の(M)は定例ミーティング



今月の活動(7月)

日本語教室 7/4(M),11,18,25
 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
 ネットワーク会議 7/9 (木) (恩地)
 同上 運営委員会 7/27 (月) (恩地)
 KIFA 広報部会 7/7 (月) (恩地)
 まちセン施設部会主催「夏の星座学習会と七夕まつり」
 7/4 (土) (田中一美)
 まちセン運営協議会施設部会 7/9 (月) (田中一美)
 BNN 日本語指導者養成講座 7/20 (月・祝) (佐野)

●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数(6月)

	6/6	6/13	6/20	6/27
先生	18人	15人	23人	17人
生徒	21人	22人	24人	18人

旅行会社につとめてい
 ます。今、病気療養中
 ですが皆さんと一緒に勉強
 していきたいと思いま



(坂本芳文さん)



会員の動き(6月)

(入会) 坂本芳文さん 6月27日入会
 ボーウェン典子さん 6月20日入会
 (休会) なし
 (退会) なし
 (賛助会員) なし



はじめまして。香山と申
 します。言語教育に興味
 があり参加させていただく
 ことにしました。生徒の皆
 さんと共にたくさん学んで
 成長していきたいと思いま
 す。よろしくお願ひします。

(5/23 入会)



(香山恵美さん)



(伊藤紀子さん)

生徒さんの明るい笑
 顔と向学心、ボランティ
 アの皆さんの優しいハ
 ートから、良いエネルギ
 ーをいただいています
 す!



(ボーウェン典子さん)

ボーウェン典子と申
 します。6月から12月
 までの短期間の参加で
 ございますが、どうぞよ
 りしくお願ひ致します。

編集後記：2015年も半分が過ぎ、人と顔を合わせれば出てくる言葉は「時のたつのは速いねえ... もう今年も」半分過ぎたね。」
 夏になれば過ぎやすかった春が、秋になればあの夏の照り返すような暑さが懐かしくなる。四季の移ろいを感じさせ
 るものこの日本に住んでるからこそではないでしょうか。やがてやってくる秋の風景を思い描きながら、これからの暑
 元気に乗り越えましょう!!! (S. E)

